指導計画案

時限	導入	展開	まとめと発展
指導上の重点目標		1 他人からの働きかけが、うれしい場合、あるいは違和感がある場合を思い浮かべて、文章を書かせる。自分で書いてみることで、作家の書き方の工夫を実感させる。	
学習活動	① ワークシートと振り返りシートを配布する。	① 『待つ』を振り返り、一人称の語りの特徴を考える。知 ② 技・思判表『うそとパン』を振り返り、『待つ』の一人称との違いを考える。知技・思判表 ③ 『写真班』のおもしろさはどこにあるか、また、三人称を採用しているのはなぜか、考える。知技・思判表	① 他人の働きかけがうれしい場合、あるいは違和感がある場合について、文章のテーマを構想する。主態 ② 出来上がったものについて、グループを作り、互いに感想を述べ合う。 ③ 振り返りシートに記入させる。
指導上の留意点		① 「私」は、周囲とは異なる考え方を持っている。それを表す際に、一人称だとどういう点が効果的か考えさせる。 ② ・「私」が「　」内の伸子さんの言葉の意図を推測している部分、捉え損ねている部分を抜き出させる。私がそのように推測したり捉え損ねたりしているのは、一人称の視点がどのようなものだからだろうか、考えさせる。 ・それは、㋐過去の事件当時の「私」の考え方、㋑当時を解説できる大人になった「私」の意識、どちらを優先していることによるか、また、そのことの効果は何か、考えさせる。 ③ 『写真班』を、漫画にするとしたら、または、コントとして演じるとしたら、どんなものになるだろうか。それを通して考えさせる。	① 自分の体験でなくても、見聞きしたエピソードや、想像でも構わない。それは、読者にストレートに伝えてよい事柄か、遠回しにするべき事柄か考えさせたうえで、「展開」①～③のいずれかを意識して実際に文章にさせる。